

令和5年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成「事業評価」(事業概要)

団体名	一般社団法人 こどもの居場所サポートおおさか	総合評価 S	評価基準(総合評価) S (非常に高く評価できるもの) A (高く評価できるもの) B (一定の水準にあるが一部課題のあるもの) C (一定の水準にあるがかなり課題のあるもの) D (全般的に多く課題のあるもの)
事業名	大阪府こども食堂サポートセンター推進事業		
実施期間	2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日		
助成(実績)額	4,403,313 円		

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果
○ 概要 こどもや家庭を支援するこども食堂等に対する中間支援活動を実施する。フードバンク機能とソーシャルワーク機能の両面から支援することで、こども食堂等が安心して活動を継続でき、こどもたちにとってのよりよいきっかけづくりの一助となるように働きかける。これまでモデル的に実施してきた活動範囲を大阪府下全域に広げ、各地のネットワークや関係機関とも連携、協働する。 ○ 対象 ・大阪府下のこども食堂 669 団体(大阪府 HP 掲載)や未掲載の団体、これから活動を始めたい方々 ・自治体、社会福祉協議会等関係機関 ○ 内容 ・フードバンク事業(週 5 日開設) ・相談(運営、個別支援)、情報提供(週 5 日開設) ・ネットワーク支援 ・意見交換会、研修会、交流会(年 3 回程度) ・情報発信、広報	○ 概要 ・登録団体数 …180 団体 →231 団体 ・登録団体活動自治体数 …15 →16 ・ハブ拠点数(寄贈物資中継拠点) …8 か所 →9 か所 ・寄贈物資量 …155t →684t ○ フードバンク ・フードバンク事業を週 5 日間、3 人体制で実施することができた。 ○ 相談支援 ・こども支援や地域活動に経験を有するスタッフが、こども食堂等の活動団体への情報提供や相談対応を随時行うことができた。 ○ 研修 ・研修会を 3 回実施し、こども食堂等の活動団体が、必要な情報を共有し、それぞれの団体が現在抱えている課題を話し合い、今後も助けることができる関係を築く機会をつくることができた。 ・5/20(土)14:00~17:00 …8 名参加 講師:江川和弥氏(ふくしまこども食堂ネットワーク代表)「活動の立上げ支援」 ・9/3(日)13:00~16:00 …50 名参加(活動団体 20 名、中間支援等 30 名) 会場:北御堂(会場費無料、参加費無料)／大阪市中央区 講師:江川和弥氏(ふくしまこども食堂ネットワーク代表) 「活動初期のお金の作り方、活動継続期のお金の作り方」 杉田一博氏(大念仏寺釈迦事業団主任) ピアサポーター(NPO 法人ふうせんの会) ・2/26(月)14:00~17:00 …15 名参加(ハブ拠点 6 団体) 会場:ボ・ドーム大念仏(母子生活支援施設・会議室、会場費無料、参加費無料)／大阪市平野区 ・3/24(日)13:00~16:00 …30 名参加 会場:北御堂(会場費無料、参加費無料)／大阪市中央区 ・ネットワーク会議 …6/23(11 名)、7/14(12 名)	○ フードバンク ・登録団体数の増加、寄贈物資量の大幅な増加を達成することができた。登録団体活動自治体数およびハブ拠点数については、微増にとどまった。 ○ 相談支援 ・こども食堂等の活動者は、他に本業を持ちながら活動している方が多く、寄贈物資の受け取りや個別の相談をする機会が限定的である。スタッフが常駐することにより、活動者が訪問しやすい日時に訪問することができ、活動日に合わせた寄贈物資の受け取りや、悩みごとがあったときの相談を随時行うことができた。 ○ 組織基盤 ・寄付や助成事業等を組合せ、来年度以降も活動を継続する体制を構築することができた。 ・こども支援や地域活動に経験を有するスタッフが常駐する体制を構築することができた。 ・こども支援や地域活動、福祉、社会的事業等に知見を有するメンバーで運営する体制を構築することができた。 ○ ネットワーク ・府や省庁の関連部署と連携を深めることができた。 ・他の都道府県の間支援団体等と連携を深めることができた。

